

企業の環境担当者、一般管理職、
エコ検定合格者など**環境リーダー**を目指す方に最適！

SDGsを活用して強い会社を創る サステナブル社会を 構築するための + A to Z + (基礎から応用)

今の時代に必須、**環境知識**と**知恵**で
社会に貢献し、**ビジネスに差がつく!**

最近、SDGs (サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ=持続可能な開発目標) という言葉が頻繁に聞かれるようになりました。東京オリンピックも大阪万博もSDGsの達成を大きな目標として掲げています。学校教育でも、未来を担う子どもたちへの重要なテーマとしてカリキュラムに取り入れるところが増えてきました。



企業も最重要課題と捉えるところが急速に増え、SDGsの達成に向けての動きが活発になっています。当然、「持続可能な」というキーワードが示すように企業も持続可能を目指さなくてはなりません。社会の持続可能を達成したとしても、企業が存続できなければ意味がありません。

今回の講座では、企業がSDGsを活用することでより強い会社になり、社会問題を解決し、社会になくなくてはならない存在に進化する方法を探っていきます。

会場

ATC ITM棟11階 おおさかATCグリーンエコプラザ
(ニュートラム線「トレードセンター前」駅下車)

参加費

各回1,000円(当日会場でお支払い下さい)

定員

各回50名(要申込)

講師：立山 裕二 (サステナ・ハース代表、おおさかATCグリーンエコプラザ環境アドバイザー、シニア自然大学校講師)
関西大学工学部化学工学科を卒業後、産業機器メーカーに入社。環境機器などの開発・設計、経営企画等の業務に従事。1995年、環境改善と企業の発展の両立を支援するために独立。中小企業診断士、大気・水質関係第一種公害防止管理者として大阪産業創造館「環境プロジェクト」アドバイザー、ひょうご環境創造協会環境アドバイザーなどを歴任。平成17年より環境経営、環境ビジネス関連業務に特化。
2017年度『日本化学工業協会』RC岡山地区大会『基調講演』など、これまでに2000回以上の講演活動を行う。利益を生み出す「環境経営」のすすめ、目からウロコなエコの授業(いずれも総合法令出版)など著書多数。

裏面もご覧ください▶

ホームページからお申し込みください

(<http://www.ecoplaza.gr.jp>)のトップページ・セミナー情報の **お申し込みフォーム** ボタンを押していただき、〈利益を生み出す環境ビジネス講座〉を選び、必要事項をご入力の上、送信してください。

お電話でも

☎ 06-6615-5888

メールでも

✉ seminar01@ecoplaza.gr.jp



- この講座では、SDGsとより関連の深い環境関連に焦点を当てています。環境知識を体系的に身につけることで、ビジネスと環境の相関を的確に説明し提案する力がつきます。
- 環境課題に取り組むことは最良の創造性開発トレーニング。「異業種的発想力」「システム思考力」「鳥瞰力」を養成し、結果として企業の生産性が向上し利益が生まれます。
- 全回受講が望ましいのですが、複数受講されるだけでもビジネスに活かす自信と実践力がつきます。

講座の中で実践企業、先進企業に講演をしていただきますので、より具体的なイメージがつかめます(各回1社を予定)。

プログラム (すべて水曜日の開催です)

時間 13:30:30~16:30

① 5/29(水) 「サステナブル社会を目指して」

サステナブル社会とは?、サステナブル・デベロップメントとは?、SDGsの基本についてなど

② 6/19(水) 「循環型社会から循環社会へ1」

循環型社会とは?、循環型社会形成推進基本法について、廃棄物と分離物、資源生産性の向上など

③ 7/24(水) 「循環型社会から循環社会へ2」

廃棄物の見方を変える、廃棄物を減らすと利益が増えるなど

④ 8/28(水) 「気候変動の基本」

気候変動(地球温暖化)の現状と未来、気候変動についての看過できない誤解、台風巨大化の意味と驚異、パリ協定など

⑤ 9/25(水) 「気候変動関連ビジネス」

緩和と適応ビジネス(自動化植物工場、二酸化炭素回収技術) 低炭素化ビジネス、省エネビジネスなど

⑥ 10/23(水) 「生物多様性の保全と環境経営」

生物多様性の基本、共生が生み出す豊かな生態系、生物多様性の重要性をいかに伝えるか、生態系が蓄積してきた知恵を経営に活かすなど

⑦ 11/20(水) 「CSRとSDGs」

CSRの変遷とSRへの統合、CSVについて(提唱者M. ポーターの本意)

⑧ 1/22(水) 「ポストSDGsを見据えた対策」

CSVの実践でSDGsを達成し、強い会社を創る

⑨ 2/19(水) 「サーキュラーエコノミーと"もったいない経営"」

"サーキュラーエコノミー"と"もったいない経営"とを統合させて、持続可能なビジネスモデルを創るのが日本の役割!

⑩ 3/18(水) 「社会問題を解決するビジネスについて」

拡大し続け、やがてビジネスという言葉と一体化する"環境"ビジネスについて